

サイレント・トライマット TS-UL20 施工要領書

1 サイレント・トライマット(以下 マット)の保管 直射日光の当たらない屋内で、水濡れのない平滑な場所に立てて保管してください。

2 下地の確認 下地となるフローリング表面の塵埃を取り除いてください。

3 接着剤の確認 下地側、床仕上げ材側共にウレタン系接着剤をご準備ください。

4 マットの施工 下地面接着剤塗布 ～ マットの張付け

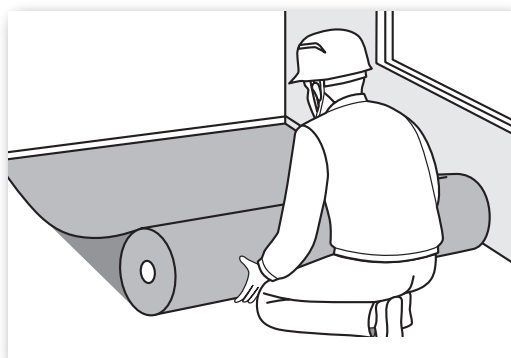


《下地面接着剤塗布》

- 接着剤塗布前にフローリング表面の塵埃を取り除いてください。
- 規定のクシ目ゴテを使用して塗り溜りができないよう均一に塗布してください。
- 適正なオープンタイムを取ってください。

※使用する接着剤のオープンタイム、張付け可能時間に沿った施工をお願いします。

季節	オープンタイム	張付け可能時間 (オープンタイム後)
冬 (5℃～15℃)	20 分	50 分
春・秋 (15℃～25℃)	15 分	45 分
	10 分	40 分
夏 (25℃～35℃)	10 分	40 分



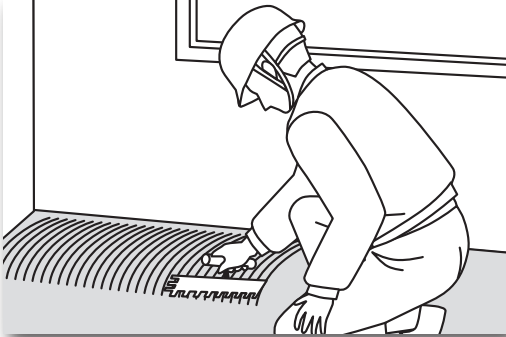
《マットの張付け》

- 製品はロール品でのご提供となりますので事前に巻き癖を取ってください。
- 外巻面を仕上面側になるようご使用ください。
- 接着剤塗布後は適正なオープンタイムを取りマットを張り始め、張付け可能時間内に張り終えてください。
- マット張付け後は、三角エッジブラシやハンドローラーを使用して圧縮し、エア抜きを丁寧に行ってください。
- マット張付け後、接着剤が硬化するまで（夏期24時間以上、冬期48時間以上）養生してください。
※養生期間中は歩行や重量物運搬をしないでください。
- マット接合部で反りが残った箇所には接着剤が硬化するまで重りなどを置いて養生してください。

サイレント・トライマット TS-UL20 施工要領書

5 仕上げ材の施工

マット面接着剤塗布 ～ 仕上げ材の張付け



《マット面接着剤塗布》

- 規定のクシ目ゴテを使用して塗り溜りができないよう均一に塗布してください。
- 適正なオープンタイムを取ってください。

※使用する接着剤のオープンタイム、張付け可能時間に沿った施工をお願いします。

季節	オープンタイム	張付け可能時間 (オープンタイム後)
冬 (5℃～15℃)	20 分	50 分
春・秋 (15℃～25℃)	15 分	45 分
	10 分	40 分
夏 (25℃～35℃)	10 分	40 分



《仕上げ材の張付け》

- 仕上げ材とマットの接合部が重ならないよう割り付けてください。
- 接着剤塗布後は適正なオープンタイムを取り仕上げ材を張り始め、張付け可能時間内に張り終えてください。
- 仕上げ材張付け後は、ボンドローラーやハンドローラーなどで圧着します。1～2 時間後に再度圧着します。
- 仕上げ材に浮きが見られる時は、接着剤が硬化するまで重りなどを置いて養生してください。

〈その他の注意事項〉

【床暖房への施工時の注意事項】

- 床暖房の運転が切れていることを確認した上で施工してください。
- 既存床の上に床暖房パネルを施工する際には、パネル上に合板（12 mm）を施工しマットを張り付けてください。

【接着剤取り扱い上の注意事項】

- 作業場所は換気を行ってください。
- 接着剤使用時は必要に応じて保護具を着用してください。